



交通安全市民会議 ニュース



横断前の「ひと呼吸」が命を守る

時間に迫られ、急いでいる時ほど事故は起きやすいものです。
そんな時に歩行者が意識したいのが、横断前の「ひと呼吸」です。



○ 車の動きを冷静に見極められる

焦って横断歩道を渡ろうとすると、遠くの車を「大丈夫」と認識してしまうことがあります。

ひと呼吸おくことで、車の速度や距離を落ち着いて判断することができます。



○ ドライバーに“横断者がいる”と気づかせられる

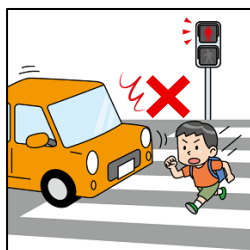
歩行者が止まり、ドライバーの方を見ることで、「渡るかもしれない」と注意を促すことができます。

その結果として双方にアイコンタクトが生まれ、安全確認の判断が一致しやすくなります。

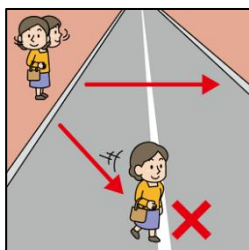
「ひと呼吸」は、心のスピードを落とし、慎重な行動へと切り替えるスイッチです！
遅れない ことより大事な その命

歩行者にも交通ルールを守る義務がある

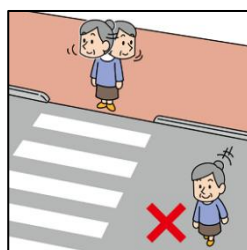
これらの歩行者の交通違反が事故の原因となることがあります。



信号無視



斜め横断



横断歩道外横断



車両の直前直後横断

事故を防ぐには、**歩行者も交通ルールを守り、安全な行動を心がける** ことが大切です。

光を身に着け、ドライバーに気づいてもらう



ロービームだと歩行者の姿は確認できません。



ロービームでも、歩行者に早く気づくことができます。

LED ライトは、自発光するため歩行者が“歩く照明”となり、事故回避の可能性がぐんと上がります。

反射材を身に着けることも、事故リスクを下げることに効果的です。

夜間から早朝は、**光って目立とう！**

